

各 位

上場会社名 株式会社アウトソーシング
 代表者 代表取締役会長兼社長 土井 春彦
 (コード番号 2427)
 問合せ先責任者 取締役経営管理本部長 植松 政臣
 (TEL 054-266-4888)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,850	百万円 600	百万円 650	百万円 350	円 銭 24.29
今回修正予想(B)	14,960	110	180	△45	△3.11
増減額(B-A)	△1,890	△490	△470	△395	
増減率(%)	△11.2	△81.7	△72.3	△112.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	12,839	256	379	162	1,113.46

平成23年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 40,000	百万円 1,800	百万円 1,900	百万円 1,140	円 銭 79.12
今回修正予想(B)	34,580	1,130	1,250	655	45.40
増減額(B-A)	△5,420	△670	△650	△485	
増減率(%)	△13.6	△37.2	△34.2	△42.5	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	28,386	1,173	1,401	760	52.46

平成23年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,300	百万円 250	百万円 280	百万円 150	円 銭 10.41
今回修正予想(B)	8,340	95	125	40	2.77
増減額(B-A)	△960	△155	△155	△110	
増減率(%)	△10.3	△62.0	△55.4	△73.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	7,765	305	373	211	1,448.77

平成23年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,000	百万円 850	百万円 920	百万円 495	円 銭 34.35
今回修正予想(B)	17,840	545	600	265	18.36
増減額(B-A)	△5,160	△305	△320	△230	
増減率(%)	△22.4	△35.9	△34.8	△46.5	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	16,989	895	1,010	659	45.53

修正の理由

平成23年12月期の業績予想における初頭の予実につきましては、国内景気の持ち直しによる個人消費の回復や米国経済の回復に加え、新興国経済も高成長を維持する等、総じて回復基調であったため、当社グループの受注も当初予想を上回るペースで獲得しておりました。しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、被災地のみならず国内は元より海外のサプライチェーンに影響を与え、経済環境の先行きは不透明感を強めました。

このため、当社グループの主要顧客である国内メーカーの生産動向は、被災地の復興や電力問題、消費マインドの低下等により、合理的かつ正確に見通すことは困難ではあります。このような環境の中、当社グループの顧客であります約三百数十社のメーカーから収集した情報を分析しますと、下期以降は、現在のサプライチェーン停滞による世界規模での生産減の反動と復興需要に支えられ、増産に係る人材ニーズは非常に高いものがあると予想されます。

当社グループにおきましては、幸いにも当震災による人的被害はなく、事業所等における物的被害も極めて軽微であったため、被災者の生活環境整備への補助及び援護等を行うとともに、市場回復に対する受注拡大に向けた営業活動に努めました。また、今後の足元の業績予想につきましては、メーカーの稼働率停滞による受注の先送りに加え、待機社員の有休取得や休業補償等による一過性費用の計上が見込まれます。一方、下期にかけて売上高は、上期における進捗の遅延により当初予想に届かないまでも、震災による減産の反動と復興需要によるメーカーの人材ニーズ拡大を背景に、前期の不況時においても積極的に拡大した営業及び採用体制強化への先行投資による効果と相まって、受注の拡大が見込まれます。

しかしながら、震災による影響を全て吸収するには至らず、平成23年2月10日に発表いたしました、平成23年12月期の連結及び個別業績予想を修正いたします。

*配当予想について

以上のことより、平成23年度の業績予想は修正いたしますが、今下期よりの人材ニーズの拡大は、来期以降の業績拡大にも寄与することが見込まれる為、配当予想は平成23年2月10日に発表しました予想を据え置きいたします。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上